

# 検定試験の自己評価シート

自己評価実施日：平成25年11月27日

検定事業者名：株式会社教育測定研究所

検定試験名：英語コミュニケーション能力測定テスト CASEC(キャセック)

## 【5段階評価の目安】

A：十分達成されている B：おおむね達成されている C：一部達成されている D：あまり達成されていない E：ほとんど達成されていない

大項目	中項目	小項目		中項目別実態・課題・改善の方向性等	
		評価項目	実績・理由・特記事項等		評価
1 実施主体	【評価の視点】 組織としての理念・目的が明確であり、検定試験を継続的・安定的に実施するために必要な組織体制や財務基盤を有するとともに、実施主体自身がPDCAサイクルに基づき、組織的・継続的に事業を改善していく組織となっていること。また、受検者や利用者(学校・企業等)への適切な情報公開と個人情報の保護がなされていること。				
	① 組織	1	○検定試験を実施する組織としての理念や目的が明確である。	当社は、教育分野における正しい教育測定技術(テストング)の研究および、その成果である正しいテスト法の流布・流通を通して、効果的な教育の実践、ひいては個人の能力の発展に寄与することを理念にしている。 【法人の概要】 <a href="http://www.jiem.co.jp/pro">http://www.jiem.co.jp/pro</a> 【当社の考えるテストとは】 <a href="http://www.jiem.co.jp/concept/">http://www.jiem.co.jp/concept/</a>	A
		2	○検定試験を実施することの社会的使命が明確である。	当社が運営しているCASECは、項目応答理論(IRT)に基づき、コンピュータ適応型テスト(CAT)を用いることによって、受検者の英語コミュニケーション能力を高い精度で、短時間で測定することを可能にしている。24時間365日、いつでもオンラインで受験できることから、受検者および管理者の利便性を高め、英語コミュニケーション能力の測定・養成することを使命としている。 【CASECとは】 <a href="http://casec.evidus.com/about/index.html">http://casec.evidus.com/about/index.html</a>	A
		3	○検定試験を実施する組織(役職員体制、事務処理体制、作問体制、危機管理体制等)が、検定試験の目的、使命を達成するための組織として適切に構成されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 役職員体制、 <input checked="" type="checkbox"/> 事務処理体制、 <input checked="" type="checkbox"/> 作問体制、 <input checked="" type="checkbox"/> 危機管理体制 <input type="checkbox"/> その他( ) 役職員体制：役職員の権限・職務は、「取締役規程」「職務権限規程」などにおいて、分離・規程し、検定試験を実施運営するための責務を明確にしている。 事務処理体制：円滑な検定試験の実施、受検者や利用者への適切な対応のため統括部署を設置し、業務フローに従いチェック機能を設け、事務処理にあたっている。 問題制作体制：適正な問題制作のため、アイテムライター(原案作成者)の研修を定期的に行い、問題作成チームにおいて制作している。 危機管理体制：不測の事態に備え、対応ガイドラインを整備し、これに従って対応体制ならびに対応方法と各部署の役割を明確にしている。	A
		4	○手続等に関する問い合わせ、試験後の問い合わせ先が設置され、受検願書やホームページ等に適切に公開されている。	問い合わせなどについては、主にCASECサポートセンターで対応し、問い合わせ先はWEBサイトおよびパンフレットにて周知している。電話および、WEBの専用フォームからの問い合わせが可能。 受験の方法： <a href="http://casec.evidus.com/">http://casec.evidus.com/</a> CASECサポートセンター： <a href="http://casec.evidus.com/inquiry/index.html">http://casec.evidus.com/inquiry/index.html</a> 株式会社教育測定研究所 CASECサポートセンター TEL:03-5775-9071 営業時間：月～金 10:00～17:00(休日：土・日・祝日・GW・夏季・年末年始)	A
		5	○目標(Plan)－実行(Do)－評価(Check)－改善(Action)というPDCAサイクルに基づき、組織的・継続的に事業を改善している。	各チームごとに、受検者、団体関係者からの意見あるいは質問はPC上で、データベース化するとともに、担当部署にて検討し、適宜、経営会議にて各部署からの審議案件などをPDCAに基づき、組織的・継続的に、改善を行っている。	A

大項目	中項目	小項目			中項目別実態・課題・改善の方向性等
		評価項目	実績・理由・特記事項等	評価	
1 実施主体	② 財務	6	○実施主体の財務経理情報を備えている。(検定試験を継続して実施している場合には、複数年分。)  (財務経理情報の例) 収支計算書、貸借対照表、財産目録等	☑備えている(貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、製造原価報告書)  法人の概要:株式会社教育測定研究所 <a href="http://www.jiem.co.jp/pro/">http://www.jiem.co.jp/pro/</a>	A
		7	○財務経理担当者等に対する内部牽制体制が確立されている。	代表取締役承認に基づく支払いフローを実施している。入出金に関しては、複数担当による役割分担をするなど、適切な業務分掌により、不正や誤謬を事前に防ぐ体制を整備している。	A
		8	○財務経理に関して、定期的または適宜監査を受けている。	☑受けている(☑内部監査、□外部監査、□その他) 監査役(非常勤)による財務監査を行っている。	A
	情報公開③ その他 個人情報	9	○情報公開する項目や方法などを明確に定めている。	「情報セキュリティ方針」を規定し、WEBで公開している。 【情報セキュリティ方針】 <a href="http://www.jiem.co.jp/security/">http://www.jiem.co.jp/security/</a>	A
		10	○受検者の個人情報保護に関する方針やマニュアル等が整備されている。	プライバシーポリシーとして「個人情報保護方針」を規定し、WEBで公開している。また、個人情報保護マネジメントの各規程を定め、実施、維持している。また、個人情報保護に関する従業員教育を実施し、マニュアルも整備している。 【個人情報保護方針】【個人情報の取り扱いについて】 <a href="http://www.jiem.co.jp/privacy/">http://www.jiem.co.jp/privacy/</a>	A
		11	○その他の特記事項等。	個人情報保護に関するプライバシーマークの認定を得ている。 WEBにて、個人情報の取り扱いを受験者に告知している。 【個人情報の取り扱いについて】 <a href="http://casec.evidus.com/privacy/index.html">http://casec.evidus.com/privacy/index.html</a>	A

大項目	中項目	小項目			中項目別実態・課題・改善の方向性等
		評価項目	実績・理由・特記事項等	評価	
2 実施内容	【評価の視点】 検定試験の目的や内容が明確であり、これらと整合する適切な測定手法や審査・採点の基準等を有すること。				
	① 目的	12	○どのような知識・技能を測るかという検定試験の目的が明確である。	「語彙の知識」、「表現の知識」、「リスニングでの大意把握」、「具体情報の聞き取り能力」という4つのセクションで、英語コミュニケーション能力を測定している。 【CASECとは】 <a href="http://casec.evidus.com/about/index.html">http://casec.evidus.com/about/index.html</a>	A
	② 内容	13	○検定試験の内容が以下の点で明確で、検定試験の目的にかなっている。 ＜検定試験で測る具体的な知識・技能とその水準＞ 領域(分野)／対象層(受検資格等)／試験範囲／難易度／その他(特色等)	WEBにて、試験時間・内容、程度、問題形式、特色などを明らかにしている。 【試験の概要】 <a href="http://casec.evidus.com/test-summary/index.html">http://casec.evidus.com/test-summary/index.html</a>	A
		14	【他に類似試験がある場合】 ○類似試験との関係性を学習者や利用者に分かりやすく示している。	受験者の利便性、試験内容の類似性、また留学基準として認められていることから、CASECスコアとの相関が見られる、TOEIC®スコア目安、TOEFL®スコア目安、英検級目安を掲載している。 【目安表示】 <a href="http://casec.evidus.com/about/point3.html">http://casec.evidus.com/about/point3.html</a>	A
		15	【学校の単位認定や進学、就職等の際に活用される検定試験の場合】 ○当該検定試験と学校教育や職業能力との関係性が示されている。	「CASECスコア別アドバイス」をWEBで掲載し、獲得スコアによる、英語コミュニケーション能力を明示している。 【CASECスコア別アドバイス】 <a href="http://casec.evidus.com/advice/index.html">http://casec.evidus.com/advice/index.html</a>  そのほか一部大学の単位認定試験として使用されているほか、企業の採用試験および英語力向上研修の能力判断として利用されていることを告知しています。 【大学の活用具体例】 <a href="http://casec.evidus.com/group/university/use.html">http://casec.evidus.com/group/university/use.html</a> 【企業の活用具体例】 <a href="http://casec.evidus.com/group/corporate/use.html">http://casec.evidus.com/group/corporate/use.html</a>	A
③ 手段	16	○知識・技能の測定手法(筆記試験、CBT試験、実技試験、面接試験等)、審査・採点の基準が適切である。	問題作成時には、内容や語彙。文法レベル、文章の長さや複雑さなどが事前に設定されたテスト範囲(非公開)に沿って作られているかどうかを外部有識者を含めた複数のスタッフで検討し修正を行った上で確定する。また、最終的に測定に利用される問題は、事前に受験者の解答データを収集し、分析を行った上で質の良い問題だけを利用している。  CASECは、項目応答理論(IRT)に基づいたコンピュータ適応型システム(CAT)により、問題の正解・不正解に合わせて、次に出される問題の難易度に変化する。最終的には、出題された問題の難易度と各問題に対する正答・誤答のパターンをもとに、受験者が安定して正解できる難易度を推定し、スコアに換算している。	A	
2 実施内容	④ その他	17	○試験結果から得られるデータ等に基づき、検定試験の内容や測定手法、審査・採点基準等について、質の確保や継続的な改善を図っている。	問題の作成者には、共通する作問マニュアルを渡し、一定の研修期間を経て問題作成を行っている。作問時に有用となる補足資料なども準備をしている。また、作問者には定期的な内容についてのフィードバックをしており、作問技術が継続的に向上していくようにしている。  問題作成時には、内容や語彙。文法レベル、文章の長さや複雑さなどが事前に設定されたテスト範囲(非公開)に沿って作られているかどうかを外部有識者を含めた複数のスタッフで検討し修正を行った上で確定する。また、最終的に測定に利用される問題は、事前に受験者の解答データを収集し、古典的テスト理論、項目応答理論を活用した分析を行い問題の特徴や品質を統計的に算出し、質の良い問題だけを利用している。  内容的に古くなったり適切でなくなった問題が出題されることがないように、問題プールの見直しを定期的に行っている。  定期的に行われる英語教育、言語測定、テスト理論といった学会に出席し、英語学習、評価測定、分析の手法といったことに関連する情報を入手し、マニュアルの改訂や分析ツールの開発などに役立っている。	A

大項目	中項目	小項目		中項目別実態・課題・改善の方向性等	
		評価項目	実績・理由・特記事項等		評価
3 実施 手続	【評価の視点】 事前準備、事後対応を含め、適正かつ公正で透明性の高い検定試験の実施体制を有するとともに、受験手続を明確にした上で目的や内容、規模等に応じた適切な取組を行っていること。				
	① 事前 準備	18	○試験の実施規則・要項等の受験手続が定められている。	WEB上にて、受験手続が定められている。 【団体受験手続】 <a href="http://casec.evidus.com/petz/group/index.html">http://casec.evidus.com/petz/group/index.html</a> 【個人受験手続】 <a href="http://casec.evidus.com/petz/personal/index.html">http://casec.evidus.com/petz/personal/index.html</a>	A
		19	○試験実施前の情報管理対策(情報管理マニュアルの整備や担当者への研修・注意喚起など)が講じられている。 (例) 試験問題、解答等の作成、印刷、搬送、保管	テストに使われる問題DBの内容についてはすべて非公開となっており、受験者や団体管理者からはアクセスすることができない状態になっている。また、お客様からのいかなる問い合わせに対しても、問題の内容に関わる回答は行わないように、窓口となるスタッフには周知徹底されている。  問題は、システム上セキュアな場所の保存されており、CD等で実施する場合の資材では、問題データは暗号化されている。  問題の開発過程においては、ファイルはPW付きのデータで授受が行われ、会議に利用された印刷資料などは、終了後にすべて回収し適切に廃棄されている。	A
		20	○受験者に対し十分な出願期間が確保されている。	受験者に十分な出願期間を与えるよう、テストを行う法人・学校の責任者との事前相談の上、試験日程を決めている。	A
		21	○受験料の適正性・妥当性について点検・検証されている。	検定試験が公正・公平に継続して持続できること、受験者の受益拡大のため事業開発・改善のために必要とされる準備金を確保できることを前提として検定料を決定している。	A
		22	【学校の単位認定や進学・就職等の際に活用される検定試験の場合】 ○児童・生徒等が不利益を被らないように、配慮がなされている。	個人の受験者は、24時間365日オンラインで受験が可能。法人や大学・学校で利用する際にも、日程を自由に調整することができるので、受験者が参加する可能性が高い大きなイベント(国体、高校野球大会等)の日程と重ならないよう配慮することができる。  ☑実施時期への配慮がされている。	A
		23	○その他の特記事項等。	個人受験者の支払いは、利便性を高めるためオンラインでのクレジット決済と、コンビニでの決済の2つから選択できるようになっている。	A
				受験者の利便性と継続的に適正な検定料で行うための施策を総合的に考え、事業運営を行っていく。	

大項目	中項目	小項目			中項目別実態・課題・改善の方向性等
		評価項目	実績・理由・特記事項等	評価	
3 実施 手 続	② 試 験 実 施	24	○試験監督業務のマニュアル等が定められており、試験実施会場・機関に事前に配付されており、試験監督者等の共通理解が図られている。	「試験監督研修マニュアル」を作成し、実施前に会場ごとに、実施担当責任者から試験監督者などへの説明と指導を行っている。	A
		25	○受検者の本人確認は、顔写真を添付した受験票の用意や身分証による照合など、本人確認が確実に行われるよう講じられている。	団体受験の際には、団体管理者により個人の認証を行っている。個人受験の際には、IDとパスワードにより本人確認を行っている。	B
		26	○試験当日、天災や交通機関の遅延等があった場合には、試験開始時刻の変更や再受験の容認など、受験機会が確保について配慮されている。	24時間365日オンラインで対応できるため、遅延があっても後日対応することが可能。	A
		27	○障がい者について、検定試験の目的や内容、規模等に応じた一定の配慮が考慮されている。	テストを行う法人・学校の背金者との事前相談の上、申し込み時に状況を確認し、一般会場で最適な環境で受験ができるように配慮している。案内掲示の工夫、車椅子での受験、障害の程度による検定時間の延長などで柔軟に対応している。	B
		28	【試験監督者の外部委託等を行う場合】 ○外部受託者等(法人・個人等)を総括する責任者が配置されている。	当社社員および実施担当者として当社が委嘱したものが実施する。	A
		29	【試験監督者の外部委託を行う場合】 ○受験手続きに関する共通理解を図り、円滑に試験監督業務を遂行できるよう試験監督者への説明・研修が実施されている。	「試験監督研修マニュアル」により、実施前に会場ごとに、実施担当責任者からの説明と指導を行っている。	A
		30	【コンピューターを使って行う試験の場合】 ○IDとパスワード等で本人確認が行われている。	IDとパスワードにより、本人確認を行っている。	A
		31	【児童生徒や学生を対象とした検定試験の場合】 ○受検者の利便性確保の観点から、公平性を保った上で、試験実施会場として学校や民間教育施設等が活用されている。【期待】	団体で受験する際には、所属する学校や法人、団体を会場として活用している。	A
		32	【試験実施会場として学校や民間教育施設等を活用している場合】 ○公平性・公正性が確保(試験日、試験監督の体制、試験会場に試験に関する掲示物が無いかなど)されている。	所属する学校・団体を会場とする場合は、「試験監督研修マニュアル」に従い、実施することを義務づけている。	A
		33	○その他の特記事項等。	外国人が受験する際には、CASECの問題とフィードバックはそのままに、受験のインストラクションを「英語」「中国語」「タイ語」「ベトナム語」で用意し、配慮。 受験者にはWEBで告知している。 【CASECのWEB】 <a href="http://casec.evidus.com/index.html">http://casec.evidus.com/index.html</a>	A

誰でもが受験できることを前提に、受験者の利便性を確保するなかで、厳正公平な実施をめざし、実施体制の改善を図る。

大項目	中項目	小項目			中項目別実態・課題・改善の方向性等	
		評価項目	実績・理由・特記事項等	評価		
3 実施手続	③ 事後対応等	34	○試験結果に関する一般情報(受検者数及びその構成、合格者数、合格率等)が、適切に公開されている。	WEBにて、過去12年間分(2001年～2012年)の受検者数と累計受検者数を公開している。 【受検者数】 <a href="http://casec.evidus.com/materials/index.html">http://casec.evidus.com/materials/index.html</a> また、各受検者に発行するスコアレポートには、他の受検者のスコア分布と、受検者の特定位置を示している。	A	受検者や社会のニーズを把握し、公開可能な情報を提供するように努める。
		35	○受検者への学習支援の観点から、試験問題や正答が公開されている。 (ただし、試験の性質上、公開することができないものを除き、事後の作問等に影響を及ぼさない範囲で)	試験の性質上、問題および正答の公開はしていない。スコア全体とセクション別スコアに対応した学習アドバイスを受検者に提供している。 【CASECスコア別アドバイス】 <a href="http://casec.evidus.com/advice/index.html">http://casec.evidus.com/advice/index.html</a>	A	
4 検定結果の活用促進	【評価の視点】 検定試験の結果が、学習成果を示す指標として社会に適切に評価され、実際に活用されるため、検定事業者等において活用促進に向けた適切な取組を進めていること。					
	検定結果の活用促進	36	○検定試験の結果を証明する合格証や認定証等が発行されている。	受験後すぐに、 ①CASECオフィシャルスコアレポート(パフォーマンス・フィードバック)、 ②CASECスコアレポート(履歴書添付用スコアレポート)、 ③CASEC CAN-DOを発行している。 【スコアレポート・サンプル】 <a href="http://casec.evidus.com/about/point3.html">http://casec.evidus.com/about/point3.html</a>	A	受検者のニーズの把握に努め、有用な情報の提供を行っていく。
		37	○合格証や認定証等が発行されている場合には、受検者が獲得した又は保持している知識・技能の内容が一見して判断し得る記載がある。	①CASECオフィシャルスコアレポート(パフォーマンス・フィードバック)では、0～1000点を6つのレベルに分け、総合レベル診断をWEBに掲載。 【CASECスコア別アドバイス】 <a href="http://casec.evidus.com/advice/index.html">http://casec.evidus.com/advice/index.html</a> ②CASEC CAN-DOでは、スコア結果によってセクション別、場面別において、知識・技能のできること・できないことを詳細に説明。 【スコアレポート・サンプル】 <a href="http://casec.evidus.com/about/point3.html">http://casec.evidus.com/about/point3.html</a>	A	
		38	○試験結果の活用に係るニーズを把握するための取組(受検者や利用者(学校・企業等)に対するアンケート調査等)が行われている。	受検者に対して、受験の目的などのアンケートを調査を行っている。その結果を検定試験の改善に利用している。ただし、調査結果は公表していない。	A	
5 継続的な学習支援	【評価の視点】 受検者の継続的な学習を支援するため、検定事業者等において適切な取組を進めていること。					
	継続的な学習支援	39	○段階的・継続的な学習をサポートする過去問題、類似問題などの参考となる資料が提供されている。	スコア別のアドバイスをWEB上で告知しているほか、受験後に発行されるスコアレポートで、学習アドバイスを行い、継続的な学習をサポートしている。また、WEB上のガイドツアーにて、サンプル問題に取り組めるようにしている。 【スコア別アドバイス】 <a href="http://casec.evidus.com/advice/index.html">http://casec.evidus.com/advice/index.html</a> 【ガイドツアー】 <a href="http://casec.evidus.com/advice/index.html">http://casec.evidus.com/advice/index.html</a>	A	学習支援を目的としたWEBコンテンツを準備し、学習アドバイス内容の改善を図る。
		40	○学習意欲の促進のため、受検者の知識・技能レベルなどの情報を提供している。	CASEC CAN-DOでは、スコア結果によってセクション別、場面別において、知識・技能のできること・できないことを詳細に説明しています。 【スコアレポート・サンプル】 <a href="http://casec.evidus.com/about/point3.html">http://casec.evidus.com/about/point3.html</a>	A	

大項目	中項目	小項目			中項目別実態・課題・改善の方向性等	
		評価項目	実績・理由・特記事項等	評価		
6 情報公開	【評価の視点】 学習者や利用者(学校・企業等)に対して、パンフレットやインターネット等を活用して、検定試験の実施主体や目的、内容、規模等に関する情報が公開されていること。					
	1 実施主体	① 組織	○実施主体の「組織」に関する情報が公開されている。	WEBでは、会社概要を公開している。 ☑公開(☑web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…組織の理念・目的 ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…組織規定(定款・寄付行為等) ☑公開(☑web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…組織体制(組織図、役員構成、事務処理体制等) ☑公開(☑web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…組織内容(事業計画書、事業報告書等) ☑公開(☑web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…問合せ窓口(電話番号、電子メールアドレス等) ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…その他( ) 【法人の概要】 <a href="http://www.jiem.co.jp/pro">http://www.jiem.co.jp/pro</a> 【問い合わせ先】 <a href="http://casec.evidus.com/inquiry/index.html">http://casec.evidus.com/inquiry/index.html</a>	A	検定実施企業として、適正な情報の公開を促進し、個人情報保護の取り組みを公開していく。
		② 財務	○実施主体の「財務」に関する情報が公開されている。	非上場企業であるため、財務情報は公開していませんが、必要に応じて国や公的機関への開示は行っている。 ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…財務経理情報(収支計算書、貸借対照表、財産目録等) ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…外部委託等の状況について ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…その他( ) 【該当項目がある場合】 ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…検定事業とその他の事業との関係	A	
		③ 方針等	○実施主体の「情報公開や個人情報保護の方針等」に関する情報が公開されている。	「情報セキュリティ基本方針」と「個人情報保護方針」を定め、Webで公開している。 ☑公開(☑web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…情報セキュリティ基本方針 ☑公開(☑web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…個人情報保護の取組(方針等) 【情報セキュリティ基本方針】 <a href="http://www.jiem.co.jp/security/">http://www.jiem.co.jp/security/</a> 【個人情報の取り扱いについて】 <a href="http://casec.evidus.com/privacy/index.html">http://casec.evidus.com/privacy/index.html</a>	A	
6 情報公開	2 実施内容	① 目的	○検定試験の「目的」に関する情報が公開されている。	☑公開(☑web、☑パンフレット、☐募集要項、☐その他)…検定試験の目的(コンセプト) ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…その他( ) 【CASECとは】 <a href="http://casec.evidus.com/about/index.html">http://casec.evidus.com/about/index.html</a> (※検定試験の目的を付け加える)	A	
		② 内容	○検定試験の「内容」に関する情報が公開されている。	☑公開(☑web、☑パンフレット、☐募集要項、☐その他)…検定試験の領域(分野) ☑公開(☑web、☑パンフレット、☐募集要項、☐その他)…特色 ☑公開(☑web、☑パンフレット、☐募集要項、☐その他)…検定試験の対象者(受験資格等) ☑公開(☑web、☑パンフレット、☐募集要項、☐その他)…試験範囲 ☑公開(☑web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…難易度(合格率等) ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…その他( ) 【該当項目がある場合】 ☑公開(☑web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…学校教育・職業能力との関係性 ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…学習指導要領等への準拠の有無	A	
		③ 手段	○検定試験の「手段」に関する情報が公開されている。	☑公開(☑web、☑パンフレット、☐募集要項、☐その他)…検定試験の測定手法(筆記試験(多岐選択式、記述式等)、CBT試験、実技試験、面接試験等) ☑公開(☑web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…審査・採点基準やその変更点 ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…試験問題の作成方法 ☑公開(☑web、☑パンフレット、☐募集要項、☐その他)…合格点・設問別配点等 ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…講座受講の必要性及び関連情報(必要経費・受講時間数等) ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…その他( )	A	

大項目	中項目	小項目		中項目別実態・課題・改善の方向性等	
		評価項目	実績・理由・特記事項等		評価
6 情報公開	3 実施 手続	① 事前 準備	○検定試験の「事前準備」に関する情報が公開されている。 個人受験・団体受験・海外での受験のお知らせをWEBで行っている。 ☒公開(☒web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…受験手続(実施規則・要綱等) ☒公開(☒web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…出願期間・出願方法 ☒公開(☒web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…受検料及び受検料以外に要する費用(合格証や認定証の発行手数料、登録料等) ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…その他( )	A	誰でもが受験できることを前提に、受験者の利便性を確保するなかで、厳正公平な実施をめざし、実施体制の改善を図る。
		② 試験 実施	○検定試験の「試験実施」に関する情報が公開されている。 24時間365日、オンラインで受験できるテストなので、天災や交通機関遅延への対応は行っていない。 ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…天災や交通機関遅延等への対応方針 ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…障がい者への配慮措置 ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…その他( )	A	
		③ 事後 対応	○検定試験の「事後対応」に関する情報が公開されている。 団体受験者には、月別のスコアレポートを送付している。また、団体受験者および個人受験者には、受験後のスコアレポートにて、受験者全体のスコア分布を掲載している。試験問題に関しては、試験の特性上公開していない。 ☒公開(☒web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…試験結果に関する一般情報(受験者数及びその構成(年齢別、業種別等)、合格者数、合格率等) ☒公開(☒web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…試験結果に関する一般情報(経年) ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…試験問題と正答 ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…その他( )	A	
	4 検定 結果 の 利用 促進	○「検定結果の利用促進」に関する情報が公開されている。 WEBでは、①CASECオフィシャルスコアレポート(パフォーマンス・フィードバック)、②CASECスコアレポート(履歴書添付用スコアレポート)、③CASEC CAN-DOを発行している。 ☒公開(☒web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他) 合格証や認定証等 ☒公開(☒web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他) 検定試験の結果活用に関する情報(学校・企業等での利用状況、合格者の活躍状況等)※要作成 ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他) その他( ) 【スコアレポート・サンプル】 <a href="http://casec.evidus.com/about/point3.html">http://casec.evidus.com/about/point3.html</a>	A	資格の優遇措置に関して、適正な情報の提供と情報提供手法の改善を図る。	
	5 継続 的な 学習 支援	○検定試験の「継続的な学習支援」に関する情報が公開されている。 スコア別アドバイスをWEBで告知している。CASEC CAN-DOは、受験後に受験者に配布している。 ☒公開(☒web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…各級等の設定(上位級との関係等) ☒公開(☒web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…過去問題・類似問題等の情報 ☒公開(☒web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…必要となる学習内容、合格までの標準的な学習時間 ☒公開(☒web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…類似試験の有無や関係性・受験者(不合格者)の現状の知識 ☒公開(☒web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…技能レベル ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…関連する学習機会に関する情報 ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…その他( ) 【スコア別アドバイス】 <a href="http://casec.evidus.com/advice/index.html">http://casec.evidus.com/advice/index.html</a> 【スコアレポート・サンプル】 <a href="http://casec.evidus.com/about/point3.html">http://casec.evidus.com/about/point3.html</a>	A	学習教材の情報提供を推進し、継続的な学習の支援を測る。	